

2012年1月吉日

各 位

日本建築学会近畿支部材料施工部会
近畿生コンクリート圧送協同組合

第8回圧送技術研究会開催のご案内

拝啓 初春の候、貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から、コンクリート圧送に対するご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、恒例となりましたコンクリート圧送・ポンプ工法に関する研究会も第8回を開催することになりましたので、ご案内申し上げますとともに、是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

近年は、コンクリート構造物の仕様やコンクリート用材料も大きく変化し、特に高強度コンクリートや高流動コンクリートの施工性やポンプ圧送性は大きな影響を受けております。

そこで日本建築学会近畿支部材料・施工部会では、ポンプ工法に関する技術の向上や、圧送性評価手法の確立、安全施工などについて、総合的かつ技術的に検討することを目的として、2004年に部会内に「ポンプ工法研究会」（以下WG）を組織し、近畿生コンクリート圧送協同組合と共同で研究活動を継続的に行い、これまでに7回の圧送技術研究会を開催して参りました。

第1回圧送技術研究会では、ポンプ工法に関するさまざまな問題が提示され、その後のWGにおいて取り組むべき課題として、①各種コンクリートの圧送性の把握、②ポンプ圧送に伴う品質変化の状況と予測の方法、③圧送性を評価するための試験方法の開発、④管内圧力損失の推定と指針による定数の検証、⑤管内流動のメカニズムに関する検討、⑥圧送性を評価するためのソフトの開発、⑦施工法の改善に関する検討、⑧圧送性に関する全国調査、の8項目があげられました。これらの課題を解決することに加えて閉塞危険性を評価することを目的として、2005年よりこれまでに、材料や調合、圧送距離などを要因とした7回のField実験や、作業所における計測を行い、コンクリートの圧送性について検討を重ねて参りました。その結果、各種コンクリートの管内圧力損失を推定するための式を提案し、2006年に圧送性評価ソフトを開発し、その後3回のバージョンアップを行ってきたところです。また、年1回の割合で開催している圧送技術研究会では、建設機械や安全に関する事項をはじめ、最新の技術などについて基調講演で情報を聴講者に提供するとともに、実験で得られた成果を報告し、毎回全国から約300人の参加をいただきました。

そして本年（度）も第8回圧送技術研究会を平成24年2月15日（水）「ホテル大阪ベイタワー」にて開催いたします。今回はコンクリートのポンプ施工法の改善と圧送メカニズムの検討をテーマとして、第7回Field実験結果を中心にこれまでの経緯と合わせて報告を行います。また改定作業中の土木学会「コンクリートのポンプ施工指針」2011年版の改訂の動向について、指針改訂委員から説明をいただく予定です。

より広範囲な皆様の関心の中で、より良いコンクリート構造物をめざしている関係各位に参加を呼びかけるものです。品質・技術に熱意ある貴職におかれましては、是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

開催日時：2012年2月15日（水） 13：00～17：00

開催場所：ホテル大阪ベイタワー 4階 ベイタワーホール

〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-1

TEL 06-6577-1111 FAX 06-6576-5155

参加費：3,000円 ※研究会資料込み

以 上

- お問い合わせについては、近畿生コンクリート圧送協同組合 06-6328-3900 まで
- 会場の用意もご致しますので、お手数ですが出欠の有無を、2月13日(月)までに F A X にてご返送下さい。
- 尚、参加費は研究会資料込みで3千円です。お手数ですが、参加費は当日受付でお支払い下さい。領収書はその際発行します。
- また、研究会直後に同ホテルの別室で懇親会を開催致します。研究発表に対するご意見やご質問をご気軽にされたり、各方面の方々との交流をはかって頂く場と考えております。今後とも継続的な研究の場を作っていく上でも、是非懇親会ご参加をお願い申し上げます。懇親会の参加費は無料です。

近畿生コンクリート圧送協同組合
F A X 0 6 - 6 3 2 8 - 3 9 0 1

第8回圧送技術研究会「コンクリートのポンプ施工法の改善と圧送メカニズムの検討」	
ご欠席	
ご出席	お名前 () 所属 () 役職 () () () () () () () () () ()
貴社(団体)名	
電話番号	F A X 番号

同「懇親会」	
ご欠席	
ご出席	お名前 () 所属 () 役職 () () () () () () () () () ()
貴社(団体)名	
電話番号	F A X 番号